

編修趣意書

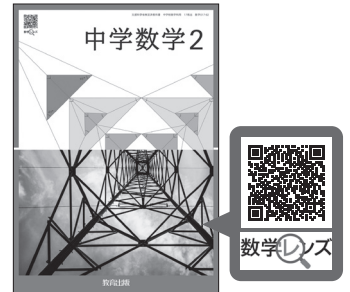
(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-31	中学校	数学	数学	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	数学 017-82	中学数学2		

1 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



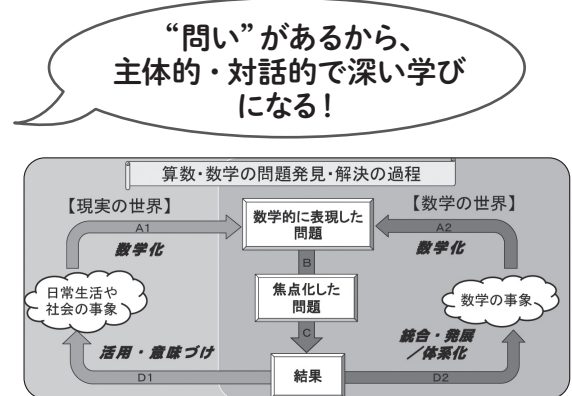
子どもたちが社会で活躍する頃には、急速なグローバル化や絶え間ない技術革新によって社会が激変し、将来の予測が困難な時代となっていることでしょう。その変化のひとつとして人工知能（AI）の進歩があげられますが、一方で、思考の目的を与えたり、目的のよさ、正しさ、美しさを判断したりできるのは、あくまでも人間であるとの再認識もなされています。このような時代では、様々な変化や未知の課題に積極的に向き合い、自立的・協働的に解決し、新たな価値を創り出していくことが求められます。

本書は、小学校算数の教科書とより一層の連携を図り、義務教育9年間で、未来を切り拓くために必要な資質・能力が子どもたち一人一人に身につくよう、次の基本方針のもと、編修にあたりました。

“問い”をもって、学び続ける子どもを育てる



▲ ② (はてな) → ① (なるほど) → ③ (だったら) で進める
学びの過程



▲ 算数・数学の問題発見・解決の過程 (文部科学省)

特色

1

思考力・判断力・表現力の育成

“問い”をもち、見方・考え方を働かせて学び合う教科書

特色

2

学びに向かう力、人間性等の涵養

数学のよさを実感することで、社会へつながる教科書

特色

3

生きて働く知識・技能の習得

学びをつないで、確かな学力を育てる教科書

1 “問い”をもって学び合うから、考えが深まる！

はてな？ (学習過程で生じる生徒の疑問) から、主体的・対話的な学びを通して、なるほど！ (学習してわかったこと、解決のしかた) を見だし、さらに！ (新たな疑問) へつながる構成にしています。

知識・技能と比べると顕在化しにくい思考力・判断力・表現力を、？ → ! → !? を通して身につけられるようにしました。未来を創り出していくのは、“問い”をもつ力です。

生徒の疑問を新たな学びへつなげる!

2つの直角三角形で、斜辺と他の1辺がそれぞれ等しいときは合同になるのかな。

三角形の合同条件をもとにして、直角三角形の合同条件を見つけたね。

学習したことのよさを振り返る!

さらに新たな学びへ!

!? 三角形の性質をいろいろ調べたけれど、四角形の性質も調べられないかな。

▲p.162 ~ 164

2 見方・考え方を意識しながら繰り返し働かせることで、よさがわかる!

大切にしたい数学的な見方・考え方

- 巻頭「大切にしたい数学的な見方・考え方」では、数学の学習で働かせたい見方・考え方を紹介しています。既習の具体的な事例をもとに紹介しているので、どのような見方・考え方があるかを知ることができます。また、すべての学年で掲載されているため、学年を超えて見方・考え方を振り返ることができます。

大切にしたい数学的な見方・考え方

帰納

類推

演繹

統合・発展

▲p.6 ~ 7

羅針盤マーク

- 具体的な問題場面で生徒に働かせてほしい見方・考え方には、吹き出しに (羅針盤マーク) をつけています。
- 問題を解決するときに働かせたい見方・考え方を振り返る! や、見方・考え方が働く典型的な学習場面には、汎用的な表現で見方・考え方を提示しています。このことで、これから出会う未知の問題に対しても、自ら見方・考え方を働かせられるように意識づけを図っています。

選り方は何通りかな?

具体的な

汎用的

多角形の内角の和

四角形、五角形などの多角形を調べることで、多角形の内角の和について、きまりを見つけることができたね。

▲p.198

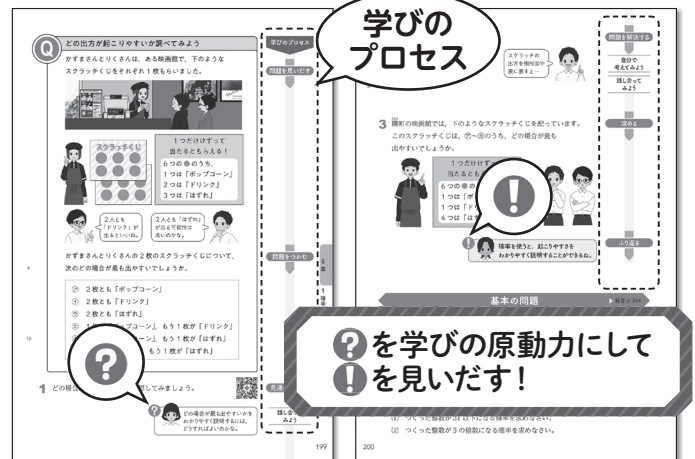
▲p.120

3 問題発見・解決の過程を体験して、考える力を身につける！

主に、知識・技能を活用する場面で「**学びのプロセス**」を設け、問題発見・解決の過程を生徒に意識づけられるようにしています。

紙面の右側には、「問題を見いだす→問題をつかむ→見通しを立てる→問題を解決する→振り返る→深める」といった学びのプロセスを示し、**問題発見・解決の過程**を意識して取り組めるようにしています。

▶p.199～200

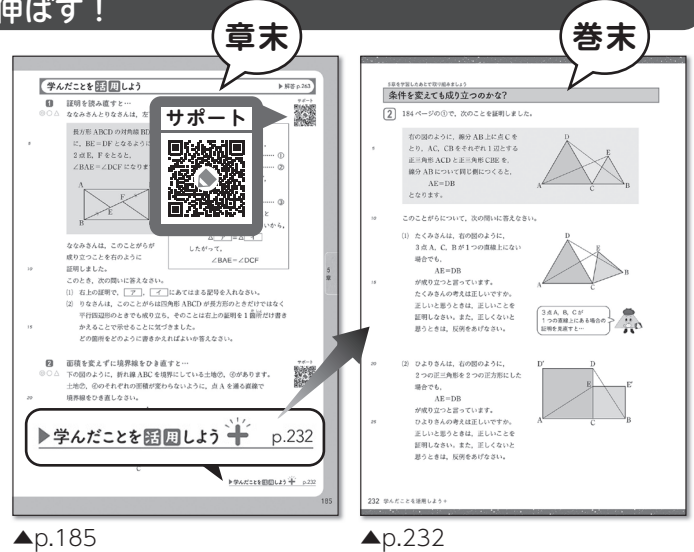


4 活用問題にたくさん取り組んで、活用する力を伸ばす！

各章の終わりにある「章の問題」には、「**学んだことを活用しよう**」を設けています。**まなびリンク**※で「サポート」（解決の手立て）を用意してあるので、生徒の理解度に応じて、個別学習、一斉授業のどちらでも取り組むことができます。

また、さらに活用力を伸ばしたい生徒のために、巻末に「**学んだことを活用しよう+**」を用意しました。

※**まなびリンク**⇒学習指導要領との対照表 p.1 参照



特色

2

学びに向かう力、人間性等の涵養

数学のよさを実感することで、社会へつながる教科書

1 数学が実社会で生きていることを実感できる！

章とびら

「**章とびら**」では、実社会や日常生活、先端テクノロジーなどの数学にかかわる話題を取り上げ、数学を学ぶことの必要性を感じられるようにしています。また、「章とびら」で取り上げた話題を章の学習内容と関連づける（**1章のとびらからLINK!!**で明示）ことで、数学の有用性を実感したり、学習による自己の成長を感じたりすることもできるようにしています。

数学しごと人

「**数学しごと人**」では、社会で活躍している方へのインタビュー内容を掲載し、数学が実社会で役立っていることや数学を学ぶ意義が実感できるようにしています。**キャリア教育**としても利用できます。

▶p.107



章とびら



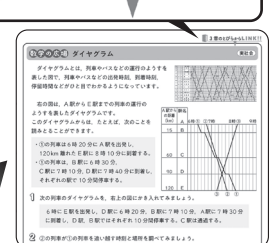
▶p.146～147

章とびら



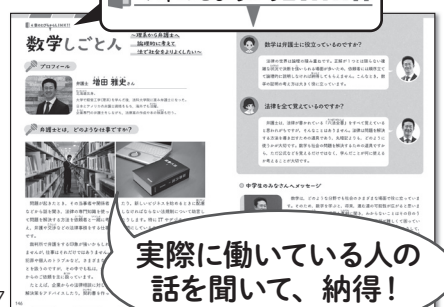
▶p.71

3章のとびらからLINK!!



▶p.99

4章のとびらからLINK!!



実際に働いている人の話を聞いて、納得！

1 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できる！

○章を学習する前に → 学習のまとめ

- 各章の入口には「○章を学習する前に」、出口には「学習のまとめ」を設けています。各章の学習の入口と出口で、基礎・基本を確認して既習内容と新たに学んだことをつなげます。

各章の入口で既習内容を確認できる！

1 式の計算 を学習する前に

1 文字を使った式

次の数量を、文字を使って表しなさい。

(1) 100 円の消しゴム x 個の代金

(2) 縦が a cm、横が 2 cm、高さが h cm の直方体の体積

(3) 秒速 1 m で x 秒間歩いてから、秒速 3 m で y 秒間走ったときの道のり

2 項、係数

(1) $4x-3$ の項をいってみよう。

(2) $4x$ の x の係数をいってみよう。

1 年 ▶ 学びのマップ p.235

5x-7=5x-(7) 係数

▲p.12

各章の出口で学んだことを確認できる！

1 学習のまとめ

単項式と多項式

数や文字についての乗法だけでつくられた式を $\square$ 、単項式の形の形で表された式を $\square$ という。

同類項

文字の部分が同じである項を $\square$ という。同類項は、次のようにまとめることができる。

$5x+8y+x-5y$ 項を並べかえる

$=5x+x+8y-5y$

$=\square x+\square y$ 同類項をまとめる

多項式を数でわる除法では、分数の形にするか、わる数を逆数にしてかける。

$2(3x+4y)=2\times\square+2\times\square$

$4x+8y=2\times\square+2\times\square$

$4x+8y=2(2x+4y)$

$4x+8y=2(2x+4y)$

$4x+8y=2(2x+4y)$

▲p.38

例(例題) → たしかめ → 問 → 補充問題

- 「例(例題)」と「問」の間に、「例(例題)」に類似した問題である「たしかめ」を設けています。学力に不安のある生徒でも自信を持ちながら、学習に取り組めるようにしています。
- 「補充問題」を巻末に用意し、「たしかめ」や「問」の類題に繰り返し取り組めるようにしています。家庭学習としても利用できます。

例2

どちらかの式を何倍かすることによる加減法

$\begin{cases} x+3y=2 & \cdots \text{①} \\ 3x+4y=-4 & \cdots \text{②} \end{cases}$

①×3 $3x+9y=6$

② $-) 3x+4y=-4$

$5y=10$

$y=2$

$y=2$ を①に代入すると、

$x+3\times 2=2$

$x=-4$

よって、この連立方程式の解は、 $x=-4$ 、 $y=2$ である。

たしかめ 2

連立方程式 $\begin{cases} x+2y=2 \\ 2x+3y=-1 \end{cases}$ を解きなさい。

問3

次の連立方程式を解きなさい。

(1) $\begin{cases} 7x+3y=-7 \\ 2x+y=-1 \end{cases}$ (2) $\begin{cases} 2x+5y=11 \\ 3x-y=-9 \end{cases}$

▲p.52

2 既習内容の学び直しによって、学びがつながる！

「学びのマップ」を巻末に用意し、既習内容をいつでも振り返ることができるようにしています。また、一部の項目には **まなびリンク** でアニメーションを見ることもできます。

わからない既習内容があるときや関連する内容を調べたいとき、いつでも参照することができます。

▶p.233～234

既習内容とのつながりがひと目でわかる！

学びのマップ

1 年までの学習

① 数の性質 (1. 数)

② 数の性質 (2. 数)

③ 数の性質 (3. 数)

④ 数の性質 (4. 数)

⑤ 数の性質 (5. 数)

⑥ 数の性質 (6. 数)

⑦ 数の性質 (7. 数)

⑧ 数の性質 (8. 数)

⑨ 数の性質 (9. 数)

⑩ 数の性質 (10. 数)

⑪ 数の性質 (11. 数)

⑫ 数の性質 (12. 数)

⑬ 数の性質 (13. 数)

⑭ 数の性質 (14. 数)

⑮ 数の性質 (15. 数)

⑯ 数の性質 (16. 数)

⑰ 数の性質 (17. 数)

⑱ 数の性質 (18. 数)

⑲ 数の性質 (19. 数)

⑳ 数の性質 (20. 数)

㉑ 数の性質 (21. 数)

㉒ 数の性質 (22. 数)

㉓ 数の性質 (23. 数)

㉔ 数の性質 (24. 数)

㉕ 数の性質 (25. 数)

㉖ 数の性質 (26. 数)

㉗ 数の性質 (27. 数)

㉘ 数の性質 (28. 数)

㉙ 数の性質 (29. 数)

㉚ 数の性質 (30. 数)

㉛ 数の性質 (31. 数)

㉜ 数の性質 (32. 数)

㉝ 数の性質 (33. 数)

㉞ 数の性質 (34. 数)

㉟ 数の性質 (35. 数)

㊱ 数の性質 (36. 数)

㊲ 数の性質 (37. 数)

㊳ 数の性質 (38. 数)

㊴ 数の性質 (39. 数)

㊵ 数の性質 (40. 数)

㊶ 数の性質 (41. 数)

㊷ 数の性質 (42. 数)

㊸ 数の性質 (43. 数)

㊹ 数の性質 (44. 数)

㊺ 数の性質 (45. 数)

㊻ 数の性質 (46. 数)

㊼ 数の性質 (47. 数)

㊽ 数の性質 (48. 数)

㊾ 数の性質 (49. 数)

㊿ 数の性質 (50. 数)

㊿ 数の性質 (51. 数)

㊿ 数の性質 (52. 数)

㊿ 数の性質 (53. 数)

㊿ 数の性質 (54. 数)

㊿ 数の性質 (55. 数)

㊿ 数の性質 (56. 数)

㊿ 数の性質 (57. 数)

㊿ 数の性質 (58. 数)

㊿ 数の性質 (59. 数)

㊿ 数の性質 (60. 数)

㊿ 数の性質 (61. 数)

㊿ 数の性質 (62. 数)

㊿ 数の性質 (63. 数)

㊿ 数の性質 (64. 数)

㊿ 数の性質 (65. 数)

㊿ 数の性質 (66. 数)

㊿ 数の性質 (67. 数)

㊿ 数の性質 (68. 数)

㊿ 数の性質 (69. 数)

㊿ 数の性質 (70. 数)

㊿ 数の性質 (71. 数)

㊿ 数の性質 (72. 数)

㊿ 数の性質 (73. 数)

㊿ 数の性質 (74. 数)

㊿ 数の性質 (75. 数)

㊿ 数の性質 (76. 数)

㊿ 数の性質 (77. 数)

㊿ 数の性質 (78. 数)

㊿ 数の性質 (79. 数)

㊿ 数の性質 (80. 数)

㊿ 数の性質 (81. 数)

㊿ 数の性質 (82. 数)

㊿ 数の性質 (83. 数)

㊿ 数の性質 (84. 数)

㊿ 数の性質 (85. 数)

㊿ 数の性質 (86. 数)

㊿ 数の性質 (87. 数)

㊿ 数の性質 (88. 数)

㊿ 数の性質 (89. 数)

㊿ 数の性質 (90. 数)

㊿ 数の性質 (91. 数)

㊿ 数の性質 (92. 数)

㊿ 数の性質 (93. 数)

㊿ 数の性質 (94. 数)

㊿ 数の性質 (95. 数)

㊿ 数の性質 (96. 数)

㊿ 数の性質 (97. 数)

㊿ 数の性質 (98. 数)

㊿ 数の性質 (99. 数)

㊿ 数の性質 (100. 数)

㊿ 数の性質 (101. 数)

㊿ 数の性質 (102. 数)

㊿ 数の性質 (103. 数)

㊿ 数の性質 (104. 数)

㊿ 数の性質 (105. 数)

㊿ 数の性質 (106. 数)

㊿ 数の性質 (107. 数)

㊿ 数の性質 (108. 数)

㊿ 数の性質 (109. 数)

㊿ 数の性質 (110. 数)

㊿ 数の性質 (111. 数)

㊿ 数の性質 (112. 数)

㊿ 数の性質 (113. 数)

㊿ 数の性質 (114. 数)

㊿ 数の性質 (115. 数)

㊿ 数の性質 (116. 数)

㊿ 数の性質 (117. 数)

㊿ 数の性質 (118. 数)

㊿ 数の性質 (119. 数)

㊿ 数の性質 (120. 数)

㊿ 数の性質 (121. 数)

㊿ 数の性質 (122. 数)

㊿ 数の性質 (123. 数)

㊿ 数の性質 (124. 数)

㊿ 数の性質 (125. 数)

㊿ 数の性質 (126. 数)

㊿ 数の性質 (127. 数)

㊿ 数の性質 (128. 数)

㊿ 数の性質 (129. 数)

㊿ 数の性質 (130. 数)

㊿ 数の性質 (131. 数)

㊿ 数の性質 (132. 数)

㊿ 数の性質 (133. 数)

㊿ 数の性質 (134. 数)

㊿ 数の性質 (135. 数)

㊿ 数の性質 (136. 数)

㊿ 数の性質 (137. 数)

㊿ 数の性質 (138. 数)

㊿ 数の性質 (139. 数)

㊿ 数の性質 (140. 数)

㊿ 数の性質 (141. 数)

㊿ 数の性質 (142. 数)

㊿ 数の性質 (143. 数)

㊿ 数の性質 (144. 数)

㊿ 数の性質 (145. 数)

㊿ 数の性質 (146. 数)

㊿ 数の性質 (147. 数)

㊿ 数の性質 (148. 数)

㊿ 数の性質 (149. 数)

㊿ 数の性質 (150. 数)

㊿ 数の性質 (151. 数)

㊿ 数の性質 (152. 数)

㊿ 数の性質 (153. 数)

㊿ 数の性質 (154. 数)

㊿ 数の性質 (155. 数)

㊿ 数の性質 (156. 数)

㊿ 数の性質 (157. 数)

㊿ 数の性質 (158. 数)

㊿ 数の性質 (159. 数)

㊿ 数の性質 (160. 数)

㊿ 数の性質 (161. 数)

㊿ 数の性質 (162. 数)

㊿ 数の性質 (163. 数)

㊿ 数の性質 (164. 数)

㊿ 数の性質 (165. 数)

㊿ 数の性質 (166. 数)

㊿ 数の性質 (167. 数)

㊿ 数の性質 (168. 数)

㊿ 数の性質 (169. 数)

㊿ 数の性質 (170. 数)

㊿ 数の性質 (171. 数)

㊿ 数の性質 (172. 数)

㊿ 数の性質 (173. 数)

㊿ 数の性質 (174. 数)

㊿ 数の性質 (175. 数)

㊿ 数の性質 (176. 数)

㊿ 数の性質 (177. 数)

㊿ 数の性質 (178. 数)

㊿ 数の性質 (179. 数)

㊿ 数の性質 (180. 数)

㊿ 数の性質 (181. 数)

㊿ 数の性質 (182. 数)

㊿ 数の性質 (183. 数)

㊿ 数の性質 (184. 数)

㊿ 数の性質 (185. 数)

㊿ 数の性質 (186. 数)

㊿ 数の性質 (187. 数)

㊿ 数の性質 (188. 数)

㊿ 数の性質 (189. 数)

㊿ 数の性質 (190. 数)

㊿ 数の性質 (191. 数)

㊿ 数の性質 (192. 数)

㊿ 数の性質 (193. 数)

㊿ 数の性質 (194. 数)

㊿ 数の性質 (195. 数)

㊿ 数の性質 (196. 数)

㊿ 数の性質 (197. 数)

㊿ 数の性質 (198. 数)

㊿ 数の性質 (199. 数)

㊿ 数の性質 (200. 数)

㊿ 数の性質 (201. 数)

㊿ 数の性質 (202. 数)

㊿ 数の性質 (203. 数)

㊿ 数の性質 (204. 数)

㊿ 数の性質 (205. 数)

㊿ 数の性質 (206. 数)

㊿ 数の性質 (207. 数)

㊿ 数の性質 (208. 数)

㊿ 数の性質 (209. 数)

㊿ 数の性質 (210. 数)

㊿ 数の性質 (211. 数)

㊿ 数の性質 (212. 数)

㊿ 数の性質 (213. 数)

㊿ 数の性質 (214. 数)

㊿ 数の性質 (215. 数)

㊿ 数の性質 (216. 数)

㊿ 数の性質 (217. 数)

㊿ 数の性質 (218. 数)

㊿ 数の性質 (219. 数)

㊿ 数の性質 (220. 数)

㊿ 数の性質 (221. 数)

㊿ 数の性質 (222. 数)

㊿ 数の性質 (223. 数)

㊿ 数の性質 (224. 数)

㊿ 数の性質 (225. 数)

㊿ 数の性質 (226. 数)

㊿ 数の性質 (227. 数)

㊿ 数の性質 (228. 数)

㊿ 数の性質 (229. 数)

㊿ 数の性質 (230. 数)

㊿ 数の性質 (231. 数)

㊿ 数の性質 (232. 数)

㊿ 数の性質 (233. 数)

㊿ 数の性質 (234. 数)

㊿ 数の性質 (235. 数)

㊿ 数の性質 (236. 数)

㊿ 数の性質 (237. 数)

㊿ 数の性質 (238. 数)

㊿ 数の性質 (239. 数)

㊿ 数の性質 (240. 数)

㊿ 数の性質 (241. 数)

㊿ 数の性質 (242. 数)

㊿ 数の性質 (243. 数)

㊿ 数の性質 (244. 数)

㊿ 数の性質 (245. 数)

㊿ 数の性質 (246. 数)

㊿ 数の性質 (247. 数)

㊿ 数の性質 (248. 数)

㊿ 数の性質 (249. 数)

㊿ 数の性質 (250. 数)

㊿ 数の性質 (251. 数)

㊿ 数の性質 (252. 数)

㊿ 数の性質 (253. 数)

㊿ 数の性質 (254. 数)

㊿ 数の性質 (255. 数)

㊿ 数の性質 (256. 数)

㊿ 数の性質 (257. 数)

㊿ 数の性質 (258. 数)

㊿ 数の性質 (259. 数)

㊿ 数の性質 (260. 数)

㊿ 数の性質 (261. 数)

㊿ 数の性質 (262. 数)

㊿ 数の性質 (263. 数)

㊿ 数の性質 (264. 数)

㊿ 数の性質 (265. 数)

㊿ 数の性質 (266. 数)

㊿ 数の性質 (267. 数)

㊿ 数の性質 (268. 数)

㊿ 数の性質 (269. 数)

㊿ 数の性質 (270. 数)

㊿ 数の性質 (271. 数)

㊿ 数の性質 (272. 数)

㊿ 数の性質 (273. 数)

㊿ 数の性質 (274. 数)

㊿ 数の性質 (275. 数)

㊿ 数の性質 (276. 数)

㊿ 数の性質 (277. 数)

㊿ 数の性質 (278. 数)

㊿ 数の性質 (279. 数)

㊿ 数の性質 (280. 数)

㊿ 数の性質 (281. 数)

㊿ 数の性質 (282. 数)

㊿ 数の性質 (283. 数)

㊿ 数の性質 (284. 数)

㊿ 数の性質 (285. 数)

㊿ 数の性質 (286. 数)

㊿ 数の性質 (287. 数)

㊿ 数の性質 (288. 数)

㊿ 数の性質 (289. 数)

㊿ 数の性質 (290. 数)

㊿ 数の性質 (291. 数)

㊿ 数の性質 (292. 数)

㊿ 数の性質 (293. 数)

㊿ 数の性質 (294. 数)

㊿ 数の性質 (295. 数)

㊿ 数の性質 (296. 数)

㊿ 数の性質 (297. 数)

㊿ 数の性質 (298. 数)

㊿ 数の性質 (299. 数)

㊿ 数の性質 (300. 数)

㊿ 数の性質 (301. 数)

㊿ 数の性質 (302. 数)

㊿ 数の性質 (303. 数)

㊿ 数の性質 (304. 数)

㊿ 数の性質 (305. 数)

㊿ 数の性質 (306. 数)

㊿ 数の性質 (307. 数)

㊿ 数の性質 (308. 数)

㊿ 数の性質 (309. 数)

㊿ 数の性質 (310. 数)

㊿ 数の性質 (311. 数)

㊿ 数の性質 (312. 数)

㊿ 数の性質 (313. 数)

㊿ 数の性質 (314. 数)

㊿ 数の性質 (315. 数)

㊿ 数の性質 (316. 数)

㊿ 数の性質 (317. 数)

㊿ 数の性質 (318. 数)

㊿ 数の性質 (319. 数)

㊿ 数の性質 (320. 数)

㊿ 数の性質 (321. 数)

㊿ 数の性質 (322. 数)

㊿ 数の性質 (323. 数)

㊿ 数の性質 (324. 数)

㊿ 数の性質 (325. 数)

㊿ 数の性質 (326. 数)

㊿ 数の性質 (327. 数)

㊿ 数の性質 (328. 数)

㊿ 数の性質 (329. 数)

㊿ 数の性質 (330. 数)

㊿ 数の性質 (331. 数)

㊿ 数の性質 (332. 数)

㊿ 数の性質 (333. 数)

㊿ 数の性質 (334. 数)

㊿ 数の性質 (335. 数)

㊿ 数の性質 (336. 数)

㊿ 数の性質 (337. 数)

㊿ 数の性質 (338. 数)

㊿ 数の性質 (339. 数)

㊿ 数の性質 (340. 数)

㊿ 数の性質 (341. 数)

㊿ 数の性質 (342. 数)

㊿ 数の性質 (343. 数)

㊿ 数の性質 (344. 数)

㊿ 数の性質 (345. 数)

㊿ 数の性質 (346. 数)

㊿ 数の性質 (347. 数)

㊿ 数の性質 (348. 数)

㊿ 数の性質 (349. 数)

㊿ 数の性質 (350. 数)

㊿ 数の性質 (351. 数)

㊿ 数の性質 (352. 数)

㊿ 数の性質 (353. 数)

㊿ 数の性質 (354. 数)

㊿ 数の性質 (355. 数)

㊿ 数の性質 (356. 数)

㊿ 数の性質 (357. 数)

㊿ 数の性質 (358. 数)

㊿ 数の性質 (359. 数)

㊿ 数の性質 (360. 数)

㊿ 数の性質 (361. 数)

㊿ 数の性質 (362. 数)

㊿ 数の性質 (363. 数)

㊿ 数の性質 (364. 数)

㊿ 数の性質 (365. 数)

㊿ 数の性質 (366. 数)

㊿ 数の性質 (367. 数)

㊿ 数の性質 (368. 数)

㊿ 数の性質 (369. 数)

㊿ 数の性質 (370. 数)

㊿ 数の性質 (371. 数)

㊿ 数の性質 (372. 数)

㊿ 数の性質 (373. 数)

㊿ 数の性質 (374. 数)

㊿ 数の性質 (375. 数)

㊿ 数の性質 (376. 数)

㊿ 数の性質 (377. 数)

㊿ 数の性質 (378. 数)

㊿ 数の性質 (379. 数)

㊿ 数の性質 (380. 数)

㊿ 数の性質 (381. 数)

㊿ 数の性質 (382. 数)

㊿ 数の性質 (383. 数)

㊿ 数の性質 (384. 数)

㊿ 数の性質 (385. 数)

㊿ 数の性質 (386. 数)

㊿ 数の性質 (387. 数)

㊿ 数の性質 (388. 数)

㊿ 数の性質 (389. 数)

㊿ 数の性質 (390. 数)

㊿ 数の性質 (391. 数)

㊿ 数の性質 (392. 数)

㊿ 数の性質 (393. 数)

㊿ 数の性質 (394. 数)

㊿ 数の性質 (395. 数)

㊿ 数の性質 (396. 数)

㊿ 数の性質 (397. 数)

㊿ 数の性質 (398. 数)

㊿ 数の性質 (399. 数)

㊿ 数の性質 (400. 数)

㊿ 数の性質 (401. 数)

㊿ 数の性質 (402. 数)

㊿ 数の性質 (403. 数)

㊿ 数の性質 (404. 数)

㊿ 数の性質 (405. 数)

㊿ 数の性質 (406. 数)

㊿ 数の性質 (407. 数)

㊿ 数の性質 (408. 数)

㊿ 数の性質 (409. 数)

㊿ 数の性質 (410. 数)

㊿ 数の性質 (411. 数)

㊿ 数の性質 (412. 数)

㊿ 数の性質 (413. 数)

㊿ 数の性質 (414. 数)

㊿ 数の性質 (415. 数)

㊿ 数の性質 (416. 数)

㊿ 数の性質 (417. 数)

㊿ 数の性質 (418. 数)

㊿ 数の性質 (419. 数)

㊿ 数の性質 (420. 数)

㊿ 数の性質 (421. 数)

㊿ 数の性質 (422. 数)

㊿ 数の性質 (423. 数)

㊿ 数の性質 (424. 数)

㊿ 数の性質 (425. 数)

㊿ 数の性質 (426. 数)

㊿ 数の性質 (427. 数)

㊿ 数の性質 (428. 数)

㊿ 数の性質 (429. 数)

㊿ 数の性質 (430. 数)

㊿ 数の性質 (431. 数)

㊿ 数の性質 (432. 数)

㊿ 数の性質 (433. 数)

㊿ 数の性質 (434. 数)

㊿ 数の性質 (435. 数)

㊿ 数の性質 (436. 数)

㊿ 数の性質 (437. 数)

㊿ 数の性質 (438. 数)

㊿ 数の性質 (439. 数)

㊿ 数の性質 (440. 数)

㊿ 数の性質 (441. 数)

㊿ 数の性質 (442. 数)

㊿ 数の性質 (443. 数)

㊿ 数の性質 (444. 数)

㊿ 数の性質 (445. 数)

㊿ 数の性質 (446. 数)

㊿ 数の性質 (447. 数)

㊿ 数の性質 (448. 数)

㊿ 数の性質 (449. 数)

㊿ 数の性質 (450. 数)

㊿ 数の性質 (451. 数)

㊿ 数の性質 (452. 数)

㊿ 数の性質 (453. 数)

㊿ 数の性質 (454. 数)

㊿ 数の性質 (455. 数)

㊿ 数の性質 (456. 数)

㊿ 数の性質 (457. 数)

㊿ 数の性質 (458. 数)

㊿ 数の性質 (459. 数)

㊿ 数の性質 (460. 数)

㊿ 数の性質 (461. 数)

㊿ 数の性質 (462. 数)

㊿ 数の性質 (463. 数)

㊿ 数の性質 (464. 数)

㊿ 数の性質 (465. 数)

㊿ 数の性質 (466. 数)

㊿ 数の性質 (467. 数)

㊿ 数の性質 (468. 数)

㊿ 数の性質 (469. 数)

㊿ 数の性質 (470. 数)

㊿ 数の性質 (471. 数)

㊿ 数の性質 (472. 数)

㊿ 数の性質 (473. 数)

㊿ 数の性質 (474. 数)

㊿ 数の性質 (475. 数)

㊿ 数の性質 (476. 数)

㊿ 数の性質 (477. 数)

㊿ 数の性質 (478. 数)

㊿ 数の性質 (479. 数)

㊿ 数の性質 (480. 数)

㊿ 数の性質 (481. 数)

㊿ 数の性質 (482. 数)

㊿ 数の性質 (483. 数)

㊿ 数の性質 (484. 数)

㊿ 数の性質 (485. 数)

㊿ 数の性質 (486. 数)

㊿ 数の性質 (487. 数)

㊿ 数の性質 (488. 数)

㊿ 数の性質 (489. 数)

㊿ 数の性質 (490. 数)

㊿ 数の性質 (491. 数)

㊿ 数の性質 (492. 数)

㊿ 数の性質 (493. 数)

㊿ 数の性質 (494. 数)

㊿ 数の性質 (495. 数)

㊿ 数の性質 (496. 数)

㊿ 数の性質 (497. 数)

㊿ 数の性質 (498. 数)

㊿ 数の性質 (499. 数)

㊿ 数の性質 (500. 数)

㊿ 数の性質 (501. 数)

㊿ 数の性質 (502. 数)

㊿ 数の性質 (503. 数)

㊿ 数の性質 (504. 数)

㊿ 数の性質 (505. 数)

㊿ 数の性質 (506. 数)

㊿ 数の性質 (507. 数)

㊿ 数の性質 (508. 数)

㊿ 数の性質 (509. 数)

㊿ 数の性質 (510. 数)

㊿ 数の性質 (511. 数)

㊿ 数の性質 (512. 数)

㊿ 数の性質 (513. 数)

㊿ 数の性質 (514. 数)

㊿ 数の性質 (515. 数)

㊿ 数の性質 (516. 数)

㊿ 数の性質 (517. 数)

㊿ 数の性質 (518. 数)

㊿ 数の性質 (519. 数)

㊿ 数の性質 (520. 数)

㊿ 数の性質 (521. 数)

㊿ 数の性質 (522. 数)

㊿ 数の性質 (523. 数)

㊿ 数の性質 (524. 数)

㊿ 数の性質 (525. 数)

㊿ 数の性質 (526. 数)

㊿ 数の性質 (527. 数)

㊿ 数の性質 (528. 数)

㊿ 数の性質 (529. 数)

㊿ 数の性質 (530. 数)

㊿ 数の性質 (531. 数)

㊿ 数の性質 (532. 数)

㊿ 数の性質 (533. 数)

㊿ 数の性質 (534. 数)

㊿ 数の性質 (535. 数)

㊿ 数の性質 (536. 数)

㊿ 数の性質 (537. 数)

㊿ 数の性質 (538. 数)

㊿ 数の性質 (539. 数)

㊿ 数の性質 (540. 数)

㊿ 数の性質 (541. 数)

㊿ 数の性質 (542. 数)

㊿ 数の性質 (543. 数)

㊿ 数の性質 (544. 数)

㊿ 数の性質 (545. 数)

㊿ 数の性質 (546. 数)

㊿ 数の性質 (547. 数)

㊿ 数の性質 (548. 数)

㊿ 数の性質 (549. 数)

㊿

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
みんなで数学をはじめよう！	・数学の学習を進めるにあたって、数学的活動の楽しさや数学のよさに触れることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように配慮しました。(第1号、第3号)	p.4～5
工夫してノートを書こう	・自分なりに工夫してノートをつくることを促し、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造力を培い、自主及び自律の精神を養えるように配慮しました。(第2号)	p.10、42～43
学びのプロセスページ	・問題発見・解決する活動を通して、自立的・協働的な学びを行い、自他を尊重する態度を養えるようにしました。(第3号)	p.30～31、59～60、100～101、124～125、199～200
数学しごと人	・仕事で数学を活用している人を紹介し、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、数学と職業との関係を知り、職業観が培われるようにしました。(第2号、第3号)	p.146～147
1章 式の計算	・陸上トラックのレーンのひき方を考える活動を通して、数学と日常生活の関連を実感できるようにしました。(第2号)	p.13、41
2章 連立方程式	・空き缶のリサイクル活動をする教材を取り上げ、環境の保全への意識が高まるようにしました。(第4号)	p.63
3章 1次関数	・地域の夏祭りにボランティアとして参加する活動の場面を取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号) ・AED（自動体外式除細動器）や、スロープの勾配に配慮したバリアフリーの事例を取り上げ、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるように配慮しました。(第3号) ・電気自動車に関連する教材を取り上げ、数学と実社会との関連を実感するとともに、環境の保全への意識が高まるようにしました。(第2号、第4号)	p.72～73 p.88、101 p.105
4章 平行と合同	・証明やその進め方について理解を図ることで、真理を求める態度を養えるように配慮しました。(第1号) ・大昔から数学が測量に利用されてきたことやユークリッドの「原論」など、数学の普遍性が感じられる話題を紹介し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように配慮しました。(第1号)	p.132～136 p.140
5章 三角形と四角形	・ミウラ折りを取り上げ、数学と実社会との関連を実感できるようにしました。(第2号) ・神社の絵馬を取り上げ、我が国の伝統や文化に興味・関心を持てるようにしました。(第5号)	p.149、177 p.150
6章 確率	・スクラッチくじの出方を調べる活動を通して、数学と日常生活の関連を実感できるようにしました。(第2号)	p.199～200
7章 データの分析	・道路の安全対策や交通機関の様々な場所に統計データが活用されている話題を紹介し、数学と実社会との関連を実感するとともに、安全意識が高まるようにしました。(第2号) ・冬日の日数の経年変化を調べる活動を通して、環境の保全への意識が高まるようにしました。(第4号)	p.207、219 p.208～218
巻末	・点字を取り上げ、そのしくみを知ることを通して、自他の敬愛と協力を重んじる態度や、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第3号)	p.230

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ESD・SDGsへの取り組み

- ・現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、生徒一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていく態度が育つように、ESD・SDGs教育の専門家による協力のもと、教材の場面設定などを工夫しました。

○人権教育・特別支援教育

- ・社会の多様性を踏まえ、人権を尊重し、あらゆる差別をなくすために、人権教育の専門家による協力のもと、教科書内の表現に配慮しました。
- ・特別支援教育の専門家の監修のもと、レイアウトや文章の改行位置などを工夫し、支障なく生徒が集中して学べるように配慮しました。
- ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。
- ・紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-31	中学校	数学	数学	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	数学 017-82	中学数学2		

1 編修上特に意を用いた点や特色

全288か所
(2年生用79か所)
当社ウェブサイトへ
アクセス!



1 デジタルコンテンツ「まなびリンク」で、 “もっとわかる・できる・納得する”を支援する!

シミュレーション

操作や観察を取り入れたコンテンツを用意しています。

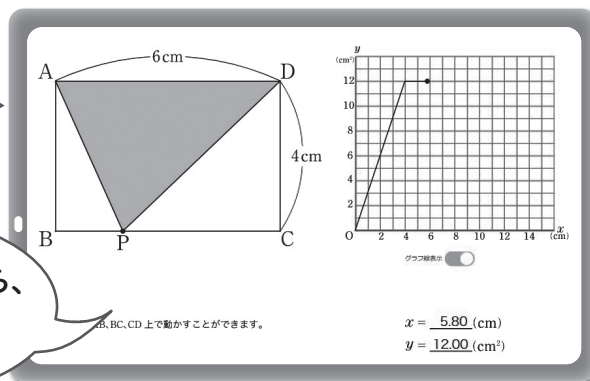
Q どのように変化するのかな?
右の図のような長方形 ABCD があります。
点 P は A を出発して、長方形の辺上を、
B、C を通って D まで動きます。点 P が
A から x cm 動いたときの $\triangle APD$ の面積を
 y cm^2 とすると、 $\triangle APD$ の面積は
どのように変化するでしょうか。

下の図①、②、③の図は、上の①で点 P が辺 AB、BC、CD 上を動くときの
 $\triangle APD$ をそれぞれ表したものです。

▲p.98



リンク



試行錯誤できるから、
発見的な学習を
行いやすくなる!

アニメーション・映像

動的な表現や立体的な表現
を見ることで理解が深まる
内容には、アニメーション
や映像を用意しています。
繰り返し見て、確認する
ことができます。

多角形の外角の和

下の図のように、多角形の各辺を平行移動していくと、外角の大きさを変えずに
多角形を小さくすることができます。このことから、多角形の外角の和が 360° に
なることも確かめることができます。

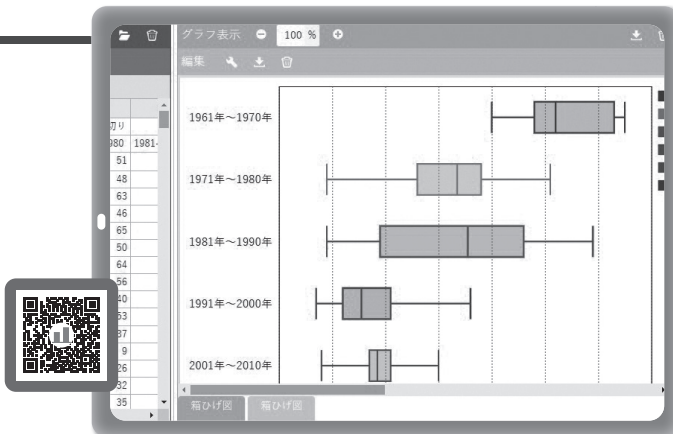
▲p.123

リンク

授業で手間をかけずに、
動きを見せられるから、
生徒の理解が深まる!

統計ツール

統計ツールと学習に必要なデータを用意しているの
で、ヒストグラムや箱ひげ図などを簡単に作成するこ
とができます。グラフ作成の作業を効率化することで、デー
タの傾向を読みとったり説明したりする活動に時間を割
くことができます。



▲p.213からリンク

2

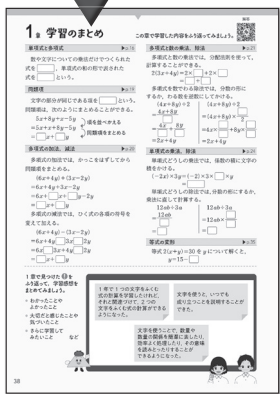
章の学習を“個別最適な学び”で深める！

学習のまとめ → 章の問題

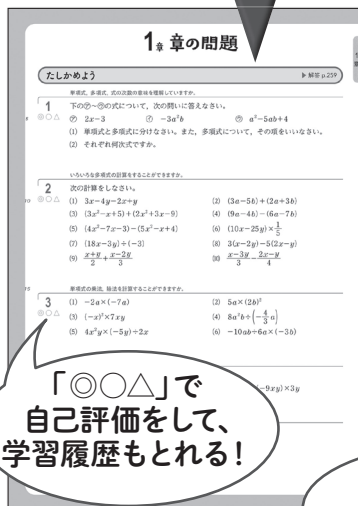
各章の終わりを「学習のまとめ」→「章の問題」という形にし、さらに「章の問題」を「たしかめよう」→「力をのばそう」→「学んだことを活用しよう」という構成にしています。「学習のまとめ」と「たしかめよう」で基礎・基本を確認し、「力をのばそう」や「学んだことを活用しよう」で、さらに学習を深めることができます。

また、「章の問題」では、**まなびリンク**でサポート（解決の手立て）を用意したり、**公立高校の入学試験問題**を一部掲載したりするなど、様々な工夫をしているので、**個別最適な学び**として利用できます。

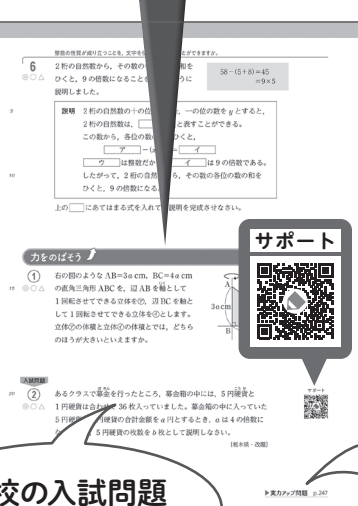
学習のまとめ
たしかめよう
力をのばそう
学んだことを活用しよう



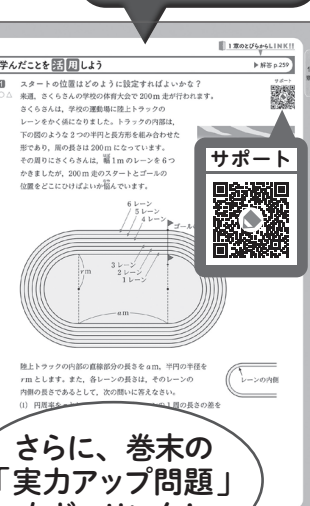
▲p.38



▲p.39 ~ 41



▲p.42



▲p.43

「○○△」で
自己評価をして、
学習履歴もとれる！

高校の入試問題
にも挑戦できる！

さらに、巻末の
「実力アップ問題」
などへリンク！

サポート



3

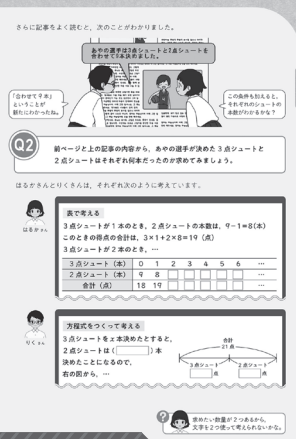
デジタルも活用しながら “協働的な学び”で、よりよい学びを生み出す！

協働的な学びの場面

協働的な学びの場面として、各章の始まりには導入課題「Let's Try」、活用の場面には「学びのプロセス」などを設けています。生徒の生活に身近な題材で、対話的な学びを実現し、よりよい学びを生み出します。



▲p.46 ~ 47



▲p.47

いろいろな考え方を
伝え合おう！

学習者用端末の利用イメージ

協働的な学びで学習を深めてほしい場面には、適宜、学習者用端末や電子黒板を利用して、多様な考えを比較しながら学び合う学習活動をイメージした紙面を掲載しています。

「まなびリンク」のほかにも、
いろいろな場面で学習者用端末を
使うことができます。

学習者用端末の
使い方▶



▲p.11

考えを知る、伝える



発表する



5章で見つけた①を
ふり返って、学習感想を
まとめてみよう。

- わかったことや
よかったこと
- 大切に感じたことや
気づいたこと
- さらに学習して
みたいこと

など

定義と定理の違いがわかった。

あることが正しいことを
証明するときは、取りかかる
前に先々の見通しをもちながら
進めるとよいと思った。

三角形や四角形について、
定義や基本的な図形の性質を
もとに、いろいろな性質を
見出すことができてよかった。

ほかにも、図形の性質をもっと
知りたい。また、それが
成り立つことを証明して
みたい。

▲p.182

検討の観点と内容の特色



観 点	内容の特色	該当箇所
教育基本法、学習指導要領の遵守	▶ 教育基本法が掲げる教育の目的及び目標を踏まえ、「問いをもって、学び続ける子ども」の育成を目指して編修しました。 ▶ 学習指導要領に則り、その目標がよりよく実現されるように創意・工夫をしました。	全般 全般
主体的・対話的で深い学びの実現	▶ 問いをもって学習を進められるように、本文を「❶(学習過程で生じる生徒の疑問) → ❷(学習してわかったこと、解決のしかた) → ❸(新たな疑問)」の形にして、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしました。	全般
基礎的・基本的な知識・技能の習得	▶ 各章の入口には【○章を学習する前に】、出口には【学習のまとめ】を設けて、基礎・基本が確認できるようにしました。 ▶ 本文の【例(例題)】と【問】の間に、スモールステップとなる【たしかめ】を設けて、基礎・基本が確実に習得できるようにしました。 ▶ 巻末に【補充問題】を用意し、【たしかめ】や【問】の類題に繰り返し取り組めるようにしました。 ▶ 各種学力調査で課題が見られる内容には、意図的につまずきにフォーカスし、誤答例などを示して誤りを正す問題を設けました。	p.12、38等 p.18等 p.245～258 p.23、27、136等
思考力・判断力・表現力の育成	▶ 巻頭【大切にしたい数学的な見方・考え方】で、数学的な見方・考え方を既習の具体例をもとに紹介し、見方・考え方を意識づけて、これから始まる学習の中で見方・考え方を働かせることができるようにしました。 ▶ 本文では、数学的な見方・考え方を働かせたい箇所に【羅針盤マーク🧭】を付けて、見方・考え方を意識できるようにしました。 ▶ 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、ほぼすべての章に【学びのプロセスページ】を設けて問題解決型の授業ができるようにし、思考力・判断力・表現力を伸ばせるようにしました。また、事実・方法・理由などを説明する場面も数多く設けました。 ▶ 章末に【学んだことを活用しよう】(章の問題)、巻末に【学んだことを活用しよう+】を設けて、知識・技能を活用する問題に数多く取り組めるようにしました。	p.6～9 p.28、51等 p.30～31等 p.41、231～232等
学びに向かう力、人間性等の涵養	▶ 【章とびら】では、実社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題を取り上げ、数学の有用性を感じられるようにしました。 ▶ 【数学しごと人】では、仕事に数学を活用している人へのインタビュー内容を掲載し、数学が実社会で役立っていることを実感するとともに、将来の職業を考えるきっかけとなるようにしました。 ▶ 章末【学習のまとめ】では、学習感想を書かせる場面を設け、学習を振り返って評価・改善しようとする態度を養えるようにしました。	p.13等 p.146～147 p.38等
ICTの活用	▶ ICTが効果的に活用できる場面にデジタルコンテンツ【まなびリンク】を用意し、二次元コードから即時にアクセスできるようにしました。【まなびリンク】には、動的・立体的な表現や実験映像などを見ることができるアニメーションや映像、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションなどを豊富に設けました。また、【章の問題】の一部には、学力に不安のある生徒でも自学自習できるように、サポート(解決の手立て)も用意しました。 ▶ 「学習者用デジタル教科書」、「学習者用デジタル教科書+デジタル教材」、「指導者用デジタル教科書(教材)」を発行する予定です。	
言語活動の充実	▶ 自分の考えを説明したり、友だちと伝え合ったりする活動を充実させるとともに、それらの活動へと広げられる場面には、「みんなに説明しよう」「話し合ってみよう」などのマークを付けて強調しました。	p.28、31等

観 点	内容の特色	該当箇所
小・中の連携、 学年間の系統性への 配慮	▶ 本文を ❷(はてな) → ❶(なるほど) → ❶❷(だったら) で学びを進める形にし、小・中の指導方法の連携を図りました。 ▶ 【もくじ】では、既習内容との関連がわかるようにしました。 ▶ 新しい学習に入る前では【○章を学習する前に】で、本文では【もどって確認】で、適宜、既習内容を振り返ることができるようにしました。 ▶ 巻末【学びのマップ】では、既習内容を掲載するとともに、既習の学習との系統性についても示しました。	全般 前見返し④、p.1 p.12、19等 p.233～244
他教科等との関連	▶ 冬日の日数の経年変化、食塩水の濃度、エッシャーのしきつめ絵などを題材として取り上げ、教科横断的に取り組めるようにしました。 ▶ 【さくいん】では英語の表記を併記し、数学の国際性を感じられるようにしました。 ▶ 道徳科との関連を図り、多様な考えを伝え合い、お互いのよさを認め合う心が育つようにしました。	p.208～218、 231、273等 p.271 p.30～31等
個に応じた学習、 少人数指導	▶ 章末【章の問題】を【たしかめよう】→【力をのばそう】→【学んだことを活用しよう】という構成にし、習熟度に応じて取り組めるようにしました。また、【力をのばそう】と【学んだことを活用しよう】には、学力に不安のある生徒でも取り組めるように【まなびリンク】でサポート（解決の手立て）を用意しました。さらに、【力をのばそう】の一部には公立高校の入試問題を掲載し、やや難しい問題にも挑戦できるようにしました。	p.39～41等
現代的な諸課題への 対応	▶ 専門家による協力のもと、ESD・SDGs 教育に配慮した教材を設けました。 ▶ 道路の安全対策などに統計データが活用されている事例などを紹介し、情報化社会における数学の有用性を感じられるようにしました。 ▶ 外国にルーツをもつ生徒のキャラクターを教科書内に登場させて、多様性のある社会を大切にする態度を養えるようにしました。	p.105等 p.207等 全般
特別支援教育・ユニバー サルデザインへの配慮	▶ 専門家の監修のもと、すべての生徒が支障なく学習できるように、読みやすい改行や、余白を生かしたレイアウトなど、落ち着いて学べる紙面づくりに配慮しました。また、デジタル教科書や拡大教科書を用意し、多様なニーズに対応できるようにします。 ▶ 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。 ▶ UD フォントを多くの箇所で使用し、視認性を高めました。	全般 全般 全般
表記・表現	▶ 文章は平易で簡潔、かつ理解しやすいように配慮しました。 ▶ 教材選定や場面の表現では、言葉遣いや服の色など、固定的なイメージで性の区別をしないようにするなど、専門家による協力のもと、多様性や人権について十分に配慮しました。	全般 全般
配列・分量	▶ 系統性や習熟期間などを考慮し、最適な学習効果が得られるように単元配列を工夫しました。 ▶ 基礎・基本の内容と選択的な内容を分け、標準時数の中で無理なく習得することができるようにするとともに、家庭学習などを想定して定着のために必要な分量の問題を用意しました。	全般 全般
印刷・造本	▶ 紙の強度を維持しつつ、軽量の紙を使用することで生徒の身体的な負担に配慮しました。 ▶ 環境やアレルギーなどに配慮し、再生紙と植物油インキを使用しました。また、表紙には抗菌加工をしました。	全般 全般
創意・工夫	▶ 主体的な学びのきっかけをつくる導入課題や、ねらいにせまる発問、対話的な学びを促す発問などがわかりやすくなるように工夫しました。 ▶ 「数学好きを増やす」観点から、自ら考えたり、友だちと学んだりする楽しさを味わえるように工夫しました。また、生徒の興味・関心を高める教材を豊富に用意しました。	全般 全般

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章 式の計算 Let's Try 1節 式の計算 2節 式の利用	A(1) A(1) ア(ア)、イ(ア) A(1) ア(イ)、ア(ウ)、ア(エ)、イ(イ)	p.13~41 p.14~15 p.16~29 p.30~37	15
2章 連立方程式 Let's Try 1節 連立方程式とその解き方 2節 連立方程式の利用	A(2) A(2) ア(ア)、ア(イ)、ア(ウ)、イ(ア) A(2) イ(イ)	p.45~69 p.46~47 p.48~58 p.59~64	13
3章 1次関数 Let's Try 1節 1次関数 2節 1次関数と方程式 3節 1次関数の利用	C(1) C(1) ア(ア)、ア(イ)、イ(ア) C(1) ア(ウ)、イ(ア) C(1) イ(イ)	p.71~105 p.72~73 p.74~89 p.90~95 p.96~101	18
4章 平行と合同 Let's Try 1節 平行線と角 2節 合同と証明	B(1) B(1) ア(ア)、ア(イ)、イ(ア) B(2) ア(ア)、ア(イ)、イ(ア)	p.107~145 p.108~109 p.110~126 p.127~141	19
5章 三角形と四角形 Let's Try 1節 三角形 2節 四角形 3節 三角形と四角形の利用	B(2) B(2) イ(ア) B(2) イ(ア)、内容の取扱い(1) B(2) イ(イ)	p.149~185 p.150~151 p.152~165 p.166~177 p.178~181	20
6章 確率 Let's Try 1節 確率	D(2) D(2) ア(ア)、ア(イ)、イ(ア)、イ(イ)	p.187~204 p.188~189 p.190~200	8
7章 データの分析 Let's Try 1節 箱ひげ図	D(1) D(1) ア(ア)、ア(イ)、イ(ア)	p.207~222 p.208~209 p.210~219	5
(予備時数 7時間)			計 98

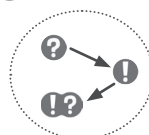
教科書の構成

巻頭

- ・みんなで数学をはじめよう!
- ・大切にしたい
数学的な見方・考え方
- ・工夫してノートを書こう
- ・まなびリンクを使って学ぼう

章の学習

- ・○章を学習する前に
- ・Let's Try
- ・Q→例(例題)
→たしかめ→問
- ・学びのプロセスページ
- ・基本の問題
- ・学習のまとめ／章の問題



巻末

- ・数学の広場+
- ・学んだことを活用しよう+
- ・学びのマップ
- ・補充問題／実力アップ問題
- ・解答
- ・さくいん

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-31	中学校	数学	数学	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	数学 017-82	中学数学2		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
27	文字を使った式の学習のひろがり	1	第1学年A(2) ア(ウ) 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。 第2学年A(1) ア(ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。 第3学年A(2) ア(ア) 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。 上記に関連して、文字を使った式の計算に関する各学年で扱う内容を知ることを通して、文字を使った式の計算についてより深く理解する。	0.25
64	文字が3つあるときはどうすればよいかな？	2	A(2) ア(ア) 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。 A(2) ア(イ) 連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解すること。 A(2) イ(ア) 一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。 上記に関連して、連立三元一次方程式の解き方を考えることを通して、文字を消去するという連立方程式の解き方についてより深く理解する。	0.5
65	CT スキャンのしくみ	2	A(2) ア(ア) 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。 A(2) ア(イ) 連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解すること。 A(2) イ(ア) 一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。 上記に関連して、連立多元方程式が実社会で利用されている事例を知ることを通して、連立方程式の必要性を理解する。	1
205	期待値	1	D(2) ア(ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 D(2) ア(イ) 簡単な場合について確率を求めること。 D(2) イ(イ) 確率を用いて不確実な事象を捉え考察し表現すること。 上記に関連して、期待値を考えることを通して、確率の考えのよさについてより理解を深める。	1
228 ～ 229	立方体の切り口	2	B(2) イ(ア) 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。 上記に関連して、立方体を切断したときにできる断面の図形を考えることを通して、論理的に考察し表現する能力を養う。	2
合 計				4.75

(「類型」欄の分類について)

- 1 …学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 …学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容